

これまでの取組

平成23年度  
集落実態調査の実施

<調査結果>

集落維持の危機

生活環境の悪化

産業の担い手不足と  
雇用の場の不足

厳しい生活実態にも関わらず、住民の思いは…

地域に愛着や誇りを感じ、  
今後も住み続けたい！

平成24年度から

中山間対策を  
抜本強化

6つの重点テーマを中心に  
全庁を挙げて取組を推進

●集落活動センターの県内への普及・拡大(40カ所で開設(H29.4))

●鳥獣被害「0」を達成したモデル集落での成功事例を普及・拡大(3年間(H27~H29)で500集落を支援)

●地域の実情に合った移動手段の確保の取組を県内30市町村で実施

県内の現状

●中山間地域では、人口減少や高齢化の進行による地域の担い手不足や産業の衰退など、依然として厳しい状況が進行

◆背景◆

若年層の流出により、中山間地域の人口は減少し、高齢化が進行。そのため、地域が直面している課題や集落活動の状況、住民の思い等、地域の実情を的確に把握する必要が生じた

H29取組の全体像

市町村や地域等と連携・協働しながら、高知県の強みである中山間地域の持続的な発展を目指し、実効ある施策を全庁を挙げて総合的に推進

生活を守る

産業をつくる

まち(地域)づくり

ひとづくり

しごと(産業)づくり

重点テーマ1

集 落 活 動 セ ン タ ー の 推 進

さらなる掘り起こし

- 集落の活性化、経済活動の推進など住民主体の取組を支援
- 市町村とのさらなる連携強化
- 集落活動センターの情報発信の強化

拡充・確立

- 産業振興計画との連携強化
- 集落活動センターの人材育成・確保
- 集落活動センターのネットワークづくり

重点テーマ2 鳥獣被害対策

- 野生鳥獣に強い高知県づくりを推進
- 鳥獣被害対策専門員の拡充
- 防護施設等整備の充実
- 捕獲対策の強化



重点テーマ5 中山間地域の未来を担う人材の育成・確保

- 人材のマッチングを強化するための新たな仕組みを構築
- 産地提案型の担い手確保対策の推進
- 産業人材や地域課題の解決にあたる人材への支援



重点テーマ3 移動手段の確保対策

- 地域の実情に合った移動手段の確保と人材育成支援
- 路線バス・鉄軌道等の地域の生活に密着した移動手段の維持支援
- 広域的バス路線の維持・活性化支援



重点テーマ4 高齢者等が生活用品等を容易に確保できる仕組みづくり

- 地域の実情にあった買い物等支援策の導入・維持支援
- 農産物出荷代行や見守りとの複合的サービスの検討支援



重点テーマ6 中山間の産業づくり

- 地域産業クラスターの形成
- 地域アクションプランの実行支援
- より大きな経済活動と地域とのリンク



各分野の施策を融合

防災

南海トラフ地震対策の抜本強化

教育

教育大綱の推進

健康・福祉

日本一の健康長寿県構想の推進

生活

インフラ整備(道路・情報通信・生活環境等)の推進

産業

産業振興計画の推進

産業成長戦略

地域アクションプラン

農業

林業

水産業

商工業

観光

7地域本部

将来像

集落が維持されている 地域や産業の担い手がいる 働く場が確保されている 支え合いの仕組みがきている  
だれもが一定の収入を得ながら、安心して暮らし続けることができる中山間地域

# 中山間対策 重点テーマ

重点テーマ

1

## 集落活動センターの推進

### ◆これまでの主な取組◆

～量的拡大と質的向上～  
平成29年4月には、40箇所程度の集落活動センターが立ち上がる見込み  
経済活動の活性化や支え合いの仕組みの充実など、成功事例も



当面（平成29年度）の見通しは立っているが、さらなる広がりが課題

### ◆今後の方向性◆

～さらなる掘り起こしと、活動の継続と拡充に向けた後押し～  
量的拡大と質的向上に向けた、新たな候補地区の掘り起こしと多様な状況に応じたきめ細かな支援を徹底

量的拡大と質的向上に向けた取組のさらなる充実が必要

重点テーマ

2

## 鳥獣被害対策

### ◆これまでの主な取組◆

平成24年度から鳥獣対策を抜本強化、集落ぐるみの防除対策や捕獲対策を強化



平成27年度から3年間で被害集落半減に取組中  
捕獲頭数は大幅に増加してきたが、伸びが鈍化

### ◆今後の方向性◆

～野生鳥獣に強い高知県づくり～  
被害集落半減と、シカ捕獲3万頭の達成に向けた防除及び捕獲対策のさらなる強化

支援集落の無い空白地域の解消と捕獲頭数の底上げが必要

## 平成29年度の主な取組

### 新たな掘り起こしのための事業の創設・充実

住民が主体となって取り組む集落の活性化や、経済活動の推進などに係る経費を支援

● 集落の活力づくり支援事業費補助金 35,000千円

● 集落活動センター推進事業費補助金 223,132千円



### センターの拡充・確立のための取組を強化

産業振興計画との連携や事業計画の磨き上げ、集落活動センターのネットワークづくりを支援

● 集落活動センターテーマ別研修会やアドバイザー派遣の充実

### 地域の安全・安心をサポートするため、福祉分野と連携した取組を推進！

在宅生活の希望を叶える高知型福祉の拠点づくりに向け、あったかふれあいセンターの施設整備を含め、リハビリテーション専門職等の派遣による介護予防サービスの充実や認知症カフェの設置推進、子どもや障害者へのサービス提供機能の充実を図るなど機能を強化

● あったかふれあいセンター事業費補助金 223,846千円



### 被害集落の半減に向けた防除対策の強化

被害「ゼロ」を達成したモデル集落の取組を県内全域に普及拡大するため、支援対策を強化

● 野生鳥獣に強い県づくり事業委託料 9,033千円

● 鳥獣被害対策専門員配置事業委託料 45,808千円

● 鳥獣被害防止総合対策交付金 435,996千円



### 捕獲対策のさらなる強化

シカ捕獲3万頭の達成等に向け、捕獲対策を強化  
新規狩猟者の確保と捕獲技術向上による捕獲頭数の上積み

● マイスター捕獲技術指導事業 1,507千円

● シカ捕獲推進事業費補助金 16,000千円



## 中山間対策 重点テーマ

重点テーマ  
3

### 移動手段の確保対策

#### ◆これまでの主な取組◆

通院や買い物等、日常生活に必要な移動手段を確保するため、市町村と連携し、車両購入や実証運行などの新たな取組を支援



30市町村が移動手段の確保対策の取組を実施中

#### ◆今後の方向性◆

引き続き、地域の実情に合った移動手段の確保に取り組むとともに、取組の拡大に向け、人材育成を支援

取組の拡大のためには、地域公共交通の専門知識を有する人材が必要



重点テーマ  
4

### 高齢者等が生活用品等を容易に確保できる仕組みづくり

#### ◆これまでの主な取組◆

生活に必要な日用品や食料品を確保するための仕組みづくり（店舗整備、移動販売、宅配による買い物代行等）を支援



18市町村で店舗整備や買い物代行と地域の見守り等の取組を実施中

#### ◆今後の方向性◆

移動手段対策等との関連も視野に入れた、地域の実態に即した買い物支援策を推進

地域の実態に即した支援策を促進するためには、先進事例等の周知が必要



## 平成29年度の主な取組

### 地域の実情に合った移動手段の確保と人材育成支援

研修会の充実による市町村の人材育成、きめ細かな移動手段の導入に向けた調査や施設整備などの取組を支援

中山間地域生活支援総合補助金（移動手段確保支援事業） 62,390千円

移動手段確保対策研修、情報交換会の開催

地域の生活を支える路線バスや鉄軌道などの確保に向けた、施設整備や実証運行などの取組を支援

地域の交通維持支援事業費補助金 49,930千円



### 中山間地域で生活用品等を確保するための取組を支援

市町村等が進める移動販売や地域の店舗整備等、生活用品の確保のための取組等を支援

中山間地域生活支援総合補助金（生活用品確保等支援事業） 1,931千円



### 地域商業の活性化に向けた取組を強化

地域の暮らしを支える商店街や商業集積地の活性化に取り組むグループや商工団体を支援

中山間地域商業対策事業 10,330千円



# 中山間対策 重点テーマ

重点テーマ  
5

中山間の未来を担う  
人材の育成・確保

## ◆これまでの主な取組◆

高知ふるさと応援隊の導入や移住促進により、県外からの人材確保の取組を推進



高知ふるさと応援隊188人の導入（H29.2.1時点）、H28年度移住者501組の達成（H28.12.31時点）

## ◆今後の方向性◆

各分野での担い手育成・確保の取組をバージョンアップ、移住施策と担い手確保策との連携強化による地域と経済の活性化

人口減少、高齢化が進む中山間地域では、各分野での担い手を育成・確保する取組のさらなる強化が必要

重点テーマ  
6

中山間の産業ひろ

## ◆これまでの主な取組◆

第3期産業振興計画に基づき、「産業成長戦略」及び「地域アクションプラン」の取組を推進



長年にわたり減少傾向にあった各分野の産出額等が上昇傾向に転じる

## ◆今後の方向性◆

～第3期産業振興計画ver.2の推進～

持続的な「拡大再生産」の好循環の創出を目指し、「地産」「外商」「拡大再生産」の取組を強化

産業振興計画による産業を育成する取組と集落を支える仕組みづくりとのリンクを意識した取組の推進が必要

## 平成29年度の主な取組

### 人材の育成・確保策の強化

各分野の様々な担い手を育成・確保

新規就農推進事業費補助金 83,352千円

林業労働力確保支援センター事業費補助金 40,161千円

産業人材育成事業（土佐MBA・サテプラ） 57,404千円

高知ふるさと応援隊推進事業 5,197千円



様々な人材ニーズの顕在化・集約化による都市部人材とのマッチング強化  
「移住」、「U・Iターン就職」、「中核人材確保」の業務を一体的に展開

移住・交流総合案内業務委託料 76,888千円

U・Iターン就職支援事業委託料 26,625千円

事業承継・人材確保支援事業委託料 128,413千円



### 地域産業クラスターの形成による雇用の創出

地域産業クラスターの形成を本格化させ、核となる第一次産業の生産拡大に加え、第二次産業、第三次産業の集積を促進

産業振興推進総合支援事業費補助金 330,000千円

地域産業クラスター形成支援事業 6,421千円



### 中山間農業複合経営拠点の活動支援

中山間農業複合経営拠点のさらなる整備促進のため、ソフト・ハード両面からの支援を強化するとともに、「複合経営拠点」「集落営農」と「集落活動センター」を一体的に推進

複合経営拠点支援事業 113,812千円

### 地域の核となる観光拠点の形成

豊かな自然を生かした観光拠点の整備や、地域の核となる観光拠点の再活性化等の推進

観光拠点等整備事業費補助金 509,926千円

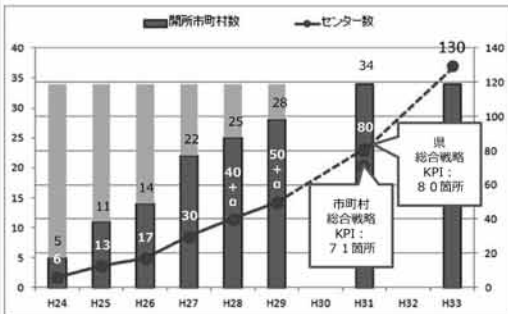
# 集落活動センターを核とした集落の維持・再生の仕組みづくり

中山間地域対策課  
H29当初予算額 280,548千円

## これまでの取組（成果）

集落活動センター開所実績と今後の予測

量的拡大



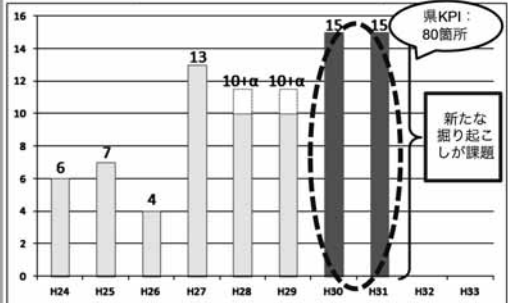
質的向上

- 経済活動の活性化
  - ・チムシルバン・レストラン来客数：H27年度3,548人 (H27.3 オープン、栲原町初瀬)
  - ・農家食堂・Cafe「イチョウノキ」来客数：約1,900人 (H28.11未現在) (H28.5 オープン 土・日・祝日営業、津野町郷) など
- 産業振興計画と連携した取組の本格化
  - ・農業法人設立によるシシトウ栽培 (三原村) など
- 集落の維持 (選ばれる地域に)
  - ・人口増加地区：柳野 ・若年人口増加地区：大宮
  - ・集落活動センター開所地区人口減少率：△3.9%
  - ・所在市町村平均：△4.3% (平成26年度まで開所17地区 住基ベース：H26→H28)

## 課題

年度別開所数の推移

量的拡大



質的向上

- ・多様な背景・活動に応じたきめ細かな支援の徹底が必要
- 経営の視点を活動に生かす ○連絡協議会の活動の充実
- 人材の育成・確保 ○多様な活動に対応したアドバイザーのさらなる活用

## 方向性



I  
さらなる掘り起こし



II  
活動の継続と拡充に向けた後押し



## 平成29年度の取組

### ■ 新たな掘り起こしのための事業の創設・拡充

- 集落の活力づくり支援事業費補助金
  - 住民が主体となって取り組む集落の活性化や、経済活動の推進などに係る経費を支援
  - 集落活動活性化事業：補助率定額（限度額500千円）
  - 集落の活力づくり支援事業：補助率1/2以内（限度額10,000千円）
- 集落活動センター推進事業費補助金
  - 人材導入活用事業の補助対象時期の前倒し（開所1年前の制限を無くす）

掘り起こし

### ■ 市町村とのさらなる連携強化

- 中山間対策に係る市町村長との個別の意見交換を定例化

### ■ 成功事例の発信

- 産業振興計画と連携した取組事例の周知
- 県民の関心を引く年間を通じた広報活動
  - ・女性をメインターゲットに、「食」の情報を絡めて発信
- 加工品情報・農家レストラン探索マップの新規作成
- 集落活動センターパンフレットの作成・配布
- 中心商店街での特産品販売・PR活動（H27年度1回、H28年度6回(H28.1未現在)）
- ポータルサイト「えいとこちうち」の充実
- 広報番組（広報広聴課枠）の放映



### ■ 集落活動センター講演会・フォーラムの実施（6月・2月）

### ■ 事業支援

- 集落活動センター推進事業費補助金（再掲）
  - ・整備事業、人材導入活用事業、経済活動拡充支援事業（総額223,132千円(29地区)、うち経済活動拡充支援事業21,594千円）
- 産業振興計画との連携強化
  - ・集落営農、複合経営拠点
  - ・特産林産物の活用（シキミ・サカキ、マイタケ等）
  - ・遊漁・体験漁業、志国高知幕末維新博 等との連携

拡充・確立

### ■ 人材育成・確保

- 集落活動センターテーマ別研修の充実
- ・事業計画、財務、法人化等のテーマで開催
- アドバイザーの派遣
  - ・事業計画具体化の支援を強化（28回→46回）
- 集落活動センター事務局（高知ふるさと応援隊）研修の実施
- 研修に関するコンシェルジュ機能の強化
  - ・研修後の相談窓口を設置



### ■ 集落活動センターのネットワークづくり

- 集落活動センター推進事業費補助金（再掲）
  - ・集落活動センター連絡協議会支援事業をメニューに追加
  - ・エリア別情報交換会などの開催

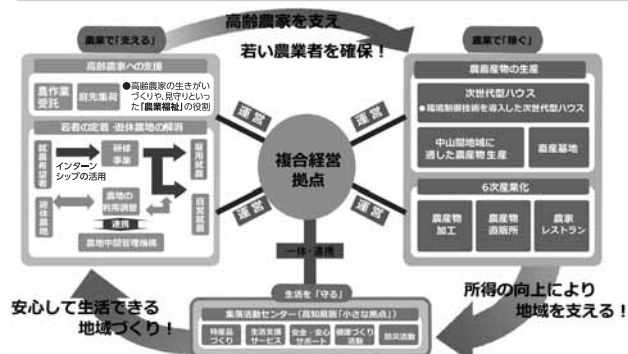


■ 集落活動センターの取組の強化等により、誰もが愛着のある地域で暮らし続けられる地域をつくる  
■ さらなる周知と新たな地域の掘り起こしにより、集落活動センターの取組を県内全域に広げる

# 中山間農業複合経営拠点の整備推進（複合経営拠点支援事業の拡充）

地域農業推進課  
H29当初予算額 113,812千円

稼ぐ取組と支える取組を複合経営し、  
中山間地域の農業の競争力を高め、支える仕組みを  
県内全域に拡大



実施地区が県内に拡大

## 中山間農業複合経営拠点の実施・候補地区



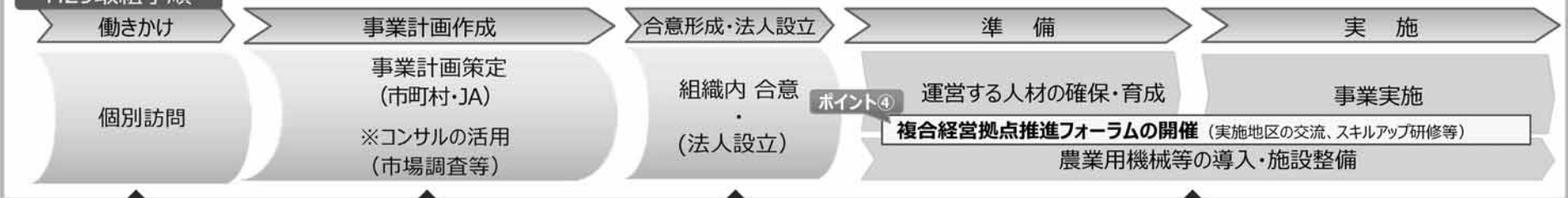
H27 実施地区	H28 実施地区		H29 実施予定地区	可能性あり
	告知	追加		
大豊町 大豊中心ファーム	安芸市 農業活動センター	香南市 農業振興公社	聖戸市 協同キラルティセア戸	高知市 北月町
本山市 本山南農業公社	日高村 コスタアグロポリス	高知市 農業スタイル	四万十町 十和 大正	高知市 四万十町 (追加)
土佐町 わいびく農業	四万十町 (仁井田)	農業活動センター	高知市 土佐山	高知市 四万十町
三原町 三原村農業公社	四万十町 (西土佐)	西土佐農業公社		
4	4	3	4	5

## 拡充のポイント

- ① 実施地区増への対応  
・複合経営拠点支援事業費の増
- ② 経営強化に向けた支援策の充実  
・経営コンサルタントの活用による経営強化に向けて経営発展支援メニューの見直し
- ③ 高齢農家への支援策の充実  
・庭先集荷支援メニューの新設
- ④ 運営する人材の育成強化  
・複合経営拠点推進フォーラムの開催

着実な整備の実現

## H29取組手順



県（地域農業推進課）

協議会（市町村、JA、県（農業振興センター、地域本部））

運営委員会（市町村、JA、県（農業振興センター、地域本部）※実務担当者で構成）

- 働きかけの対象  
・30の拠点構想のうち、19の候補地区
- 取組内容  
・実施地区の視察や個別訪問等の働きかけにより、拠点の実現に向けて取り組む

複合経営拠点支援事業【拡充】

- ◆ 複合経営拠点整備事業（ハード）
  - 農業機械・施設の整備支援（実施地区の拡大に対し、必要な予算額を確保）
- ◆ 事業計画作成事業（ソフト）
  - 事業計画作成支援
  - 高度計画作成支援
- ◆ 経営発展支援事業（ソフト）
  - 経営強化支援【拡充】
    - ・経営強化に向けて経営コンサルタントの派遣等のきめ細かな支援を実施
  - 庭先集荷支援【新設】
    - ・高齢農家の直販所等への出荷を手助けする庭先集荷を支援
  - インターンシップ支援
  - 雇用確保支援 ⇒ 「農の雇用」に加算

（国）農山漁村振興交付金・「農の雇用」事業

# 少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大施策の全体像 ～ライフステージに応じた総合的な支援～

104億円

より多くの方の「出会い・結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をより早く叶え、理想とする子どもの人数の希望を叶えることができるよう少子化対策を推進するとともに、就労や登用の支援などにより女性の活躍の場の拡大を図る。

## 1. ライフステージの各段階に応じた取組のさらなる推進 (9,842,253千円)

進路選択	出会い・結婚	妊娠・出産	子育て
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●結婚への支援を希望する独身者の実情に沿った総合的な支援</li> <li>●<b>出会い・結婚支援事業 (74,492千円)</b> (出会いの機会の拡充)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングシステムの拡充                             <ul style="list-style-type: none"> <li>登録閲覧ブースの増設</li> <li>マッチングシステムへのビッグデータの導入</li> </ul> </li> <li>・地域の独身者向けイベントの実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>県主催交流会の開催</li> <li>応援団によるイベントへの支援の拡充</li> </ul> </li> <li>・婚活サポーターの養成 など</li> <li>(きめ細かな支援の充実)</li> <li>・応援コーナーにおける個別支援</li> <li>・イベントサポーターなどのボランティアの養成 など</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備</li> <li>●<b>周産期医療体制整備事業 (43,069千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期医療体制充実のため財政支援と研修の実施等</li> </ul> </li> <li>●<b>母体管理支援 (48,396千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早産予防等を目的とした妊婦健診検査の実施と妊婦等への啓発</li> <li>・産前・産後ケア促進のための取組や子育て世代包括支援センター設置支援</li> </ul> </li> <li>●<b>不妊治療費助成 (83,865千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定不妊治療費及び一般不妊治療費(一部)への助成 など</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て支援の推進</li> <li>●<b>子どものための教育・保育(施設利用)に係る負担金等 (2,458,774千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・子育て支援法による保育所、幼稚園、認定こども園等に係る給付費の負担等</li> </ul> </li> <li>●<b>地域子ども・子育て支援事業費補助金 (113,269千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育、延長保育、一時預かり等の経費への助成</li> </ul> </li> <li>●<b>多機能型保育支援事業 (28,731千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等を中心とした地域の高齢者や子育て世代などの交流の場づくりを進めるとともに、保育所等の子育て支援機能を強化し、子育て家庭を地域で見守り、支えあう、地域ぐるみの子育て支援を行うことが可能な多機能型の保育事業を推進する</li> </ul> </li> <li>●<b>多子世帯保育料軽減事業費補助金 (83,812千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3子以降3歳未満児の保育料の軽減(無料化)</li> </ul> </li> <li>●<b>ファミリー・サポート・センター事業 (23,952千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員募集、研修の実施、高知版ファミリー・サポート・センターの開設までを一貫して支援し、県内全域への普及展開</li> </ul> </li> <li>●<b>子どもの健康的な生活習慣支援事業 (2,922千円)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育やライフプランに関する授業の実施 など</li> </ul> </li> </ul>

少子化対策の充実・強化

## 2. 少子化対策を官民協働による県民運動とするための総合的な取組 (再掲 37,386千円)

・「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」と連携し、社会全体で、出会いや結婚への支援を希望する方、子育てを行っている方などを応援する機運を醸成(応援団登録団体の増：民間団体のネットワークを生かした応援団登録の勧誘など 応援団の取組の充実：ワークライフバランスの推進など)

官民協働の県民運動へ!

### 1. 家庭における男女共同参画の推進

●**男女共同参画センターにおける広報・啓発 (188千円)**

男性対象講座、講演会、情報誌等による通年の啓発 など

### 2. 地域における子育て支援の充実 ～柔軟に対応できる子どもの預け先の拡大～

●**ファミリー・サポート・センター事業 (23,952千円) (再掲)**

会員の募集、研修の実施、高知版ファミリー・サポート・センターの開設までを一貫して支援し、県内全域の普及を目指す

●**多機能型保育支援事業 (28,731千円) (再掲)**

●**放課後子ども総合プラン推進事業 (563,706千円)**

高知版ファミリー・サポート・センター!



社会全体  
(家庭・地域・職場)で  
子育てしながら働く  
女性を支援

など

女性の活躍の場の拡大

### 3. 多様なニーズに応じた就労支援

●**女性就労支援事業 (高知家の女性しごと応援室) (27,240千円)**

キャリアコンサルティングや情報提供、研修やつどいの場の提供などによるきめ細かな支援を実施

●**福祉人材センター運営事業・福祉研修センター運営事業 (101,920千円)**

相談や職業紹介により福祉や介護職場への就労支援、潜在介護福祉士等の復職支援、主婦等のニーズにあった柔軟な働き方が可能な職場づくり など

### 4. 男女がともに働きやすい職場づくり

●**少子化対策県民運動推進事業 (37,386千円) (再掲)**

●**女性登用等促進事業 (4,570千円)**

経済団体等と連携し、企業の管理職層・働く女性を対象としたセミナー、女性活躍推進法に定める「事業主行動計画」策定支援(説明会・個別相談会開催、専門家派遣) など

# 結婚への支援を希望する独身者の実情に沿った総合的な支援

少子対策課  
H29当初予算額 111,878千円

結婚は個人の自由であることを大前提に、出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の提供・拡充、きめ細かな結婚支援の充実など、総合的な結婚支援を推進する。

## 現 状（平成28年度の実績）

### 1. 出会いや結婚への支援を希望する独身者の出会いの機会の拡充

- ・「こうち出会いサポートセンター」におけるマッチングシステムの本格稼働  
マッチングシステム会員登録数：750人、お引き合わせ成立数：336組（H29.1月末）
- ・こうち出会いサポートセンターの東部支所・西部支所の開設
- ・応援団主催出会いイベントの開催：84回（H29.1月末）
- ・地域や市町村の特性を生かした出会いイベント実施への支援：20団体（H29.1月末）

### 2. 出会いや結婚への支援を希望する独身者へのきめ細かな支援の充実

- ・出会いや結婚を希望する独身者を支援するボランティア数：166人（H29.1月末）

### 3. 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナーによる情報提供、相談・支援への対応

・相談件数：720件（H29.1月末）

## 課 題

### 課題1. 出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の拡充

- マッチングシステムの拡充 など

### 課題2. 出会いや結婚への支援を希望する独身者へのきめ細かな支援の充実

- 婚活サポーター、イベントサポーター、マッチングサポーターの養成 など

## 平成29年度の実績

### 1. 出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の拡充

#### ● マッチングシステムの拡充

- マッチングシステムの利便性の向上  
・出張登録閲覧会の開催
- 登録閲覧ブースの増設（高知センター：3→4）

#### ● マッチングシステムへのビッグデータの導入

- ・個々の会員が実際にお相手を選んだ条件を統計化し、その分析結果を活用してお勧めの相手をシステム側から紹介

#### ● 地域の独身者等を対象とした出会いイベントの充実

- 県主催出会いイベントの開催
- 応援団が地域の独身者等を対象として開催する出会いイベントへの支援の拡充  
・CSRやCSV活動による出会いイベント等の開催への補助制度の創設 など

#### ● 婚活サポーターの増加に向けた養成講座の実施

※婚活サポーター：それぞれの地域で、結婚への支援を希望する独身者の方を応援いただいているボランティアの皆様

※マッチングシステム（H28.4～）

- ・結婚を希望される独身男女が自身のプロフィールを会員登録
- ・会員の中からお会いしたい方を探し申込み
- ・こうち出会いサポートセンターにおいて、相手方の意思を確認のうえ、1対1の出会いをサポート



出会いや結婚への  
支援を望む独身者の  
希望を叶える！

### 2. 出会いや結婚への支援を希望する独身者へのきめ細かな支援の充実

#### ● 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナーにおける個別支援の実施

- 応援コーナースタッフによる個別支援、出張相談など

#### ● イベントサポーター・マッチングサポーターの養成、スキルアップ研修の実施

※イベントサポーター：出会いイベントにおいて参加者の交流促進等を行っていただくボランティアの皆様

※マッチングサポーター：マッチングシステムでのお引き合わせの立ち会い等を行っていただくボランティアの皆様



# 高知版ファミリー・サポート・センターの推進

県民生活・男女共同参画課  
H29当初予算額 23,792千円

- ・働きながら子育てできる環境整備、特に、仕事の都合による一時預かりなどのニーズに柔軟に対応できる子育て支援の充実、女性の活躍・少子化対策の両面で有効。
- ・地域の支え合いによる子育て支援の仕組みであるファミリー・サポート・センターについて、会員の募集から研修の実施、新たなセンター開設まで一貫して支援し、県内全域での普及を目指す！

## ファミリー・サポート・センターの仕組み



県内全域での普及(平成31年度末までに13か所)に向け、開所を加速する取組が必要

### 課題の分析 (市町村意向調査結果から)

複数回答

#### 1. 会員の確保が困難 回答数:21市町村

・知らない人に預ける・預かることへの不安感から、開所しても会員が増えないと考える市町村が多い。  
⇒実際の援助活動の様子など、ファミサポをよりリアルにイメージできるような働きかけ

#### 2. ニーズがない又は不明 回答数:17市町村

・「ファミサポのニーズ(声)が不明」なために以降の検討が進まない市町村がある。

⇒ ニーズを顕在化させる広報

#### 3. 委託先の確保が困難 回答数:12市町村

・多くの市町村は、想定する委託先を「手いっぱい」と認識。一方、新たな職員を雇用するには、国を準用した現行の高知版基準額は規模が不十分。

⇒ 財政的支援の拡充

#### 4. 援助活動の安全性への懸念 回答数:8市町村

・援助会員が安全に預かりができるかどうか疑問視する市町村がある。

⇒ 安全に活動を行うための研修の充実

## H29の取組

### 1. 高知版ファミリー・サポート・センター設置への支援

#### 拡 高知版ファミリー・サポート・センター運営費補助金 (15,550千円)

・市町村における開所をさらに支援するため、ファミリー・サポート・センター業務の専任職員を配置した場合への加算メニューを創設

メニュー	事業内容	基準額	補助率
拡 基本事業	①会員数50人未満のセンターの設置・運営	1,800	2/3
	加算分 ②専任職員を1名以上配置	1,000	
	③援助会員となるための研修実施(12時間以上)	360	
利用支援事業	ひとり親家庭、低所得者等に対する利用支援	400	2/3
提供会員活動促進事業	提供会員として登録し年度内に1回以上援助活動を実施した方に年額5千円の活動費支給	5	定額
開設準備経費	開設にあたり必要な備品購入、改修等	2,000	2/3

※加算については、国の補助を活用してセンターを運営する市町村が実施する場合も対象(②の補助基準額は、①②の計(2,800千円)から、国の補助基準額(基本分)を除いた額)

#### ○ファミリー・サポート・センター運営費補助金 (3,500千円)

### 2. 会員(預けたい・預かりたい)の増に向けたセンターのPRと研修の実施

#### 新 地域の支え合い事例のTV放送・出前上映 (3,080千円)

- ①既存センター(高知市・佐川町・香南市)の実際の活動事例をTV放映(情報番組枠で8分×12回)
- ②上記支え合い事例をDVD化、地域のイベントや拠点施設などで上映  
⇒ファミサポを身近に、かつリアルに知っていただき、会員増につなげるとともに、未設置市町村におけるニーズの顕在化を図る。

#### ○リーフレットの作成・配布、県の広報媒体を活用した周知 (674千円)

- 提供会員になるための研修の実施 (722千円) **新**  
・子育て支援員研修(ファミリー・サポート・センター・コース)、開所する市町村が実施する研修の支援

#### ○アドバイザーのスキルアップの支援 (266千円)

## H28の取組

- 高知版ファミリー・サポート・センター運営費補助金  
国の補助要件を満たさない会員数50人未満の小規模なセンターを県単独で支援
- ファミリー・サポート・センター運営費補助金  
国の補助を活用してセンターを運営する市町村を支援
- センターのPR(リーフレットの作成・配布等)
- 提供会員になるための研修の実施

H28.11.6  
「こうなんファミリー・サポート・センター」  
開設(香南市)



## 高知県文化芸術振興ビジョンの策定

- ◆ 高知県芸術文化振興ビジョンの策定から10年が過ぎ、本県の文化芸術をとりまく環境が変化中、県の現状に沿った内容で新たにビジョンを策定。
- ◆ 県が実施する具体的な文化芸術の施策をビジョンに盛り込むとともに、事業の取組状況や成果についての検証、評価を定期的に行い、本県の文化芸術のさらなる推進を図る。

## 文化芸術の現状

- ◆ 広く県民が文化芸術に親しむことを目的として、毎年、**高知県芸術祭を開催し、約100団体が参加している。**
- ◆ 一方で、今年実施した県民世論調査の結果、**約6割の県民の方が文化芸術活動に関わっていないことが明らかとなった。**
- ◆ 本県の文化芸術活動の推進母体である**高知県文化財団**は、県立文化施設の管理運営のほか、**県の文化振興施策を担っている。**

## 課題と必要な対応

- ◆ 高知県芸術祭の知名度が低く、**芸術祭が開催されている、芸術祭に参加している、という意識の醸成が必要。**
- ◆ 多くの方が文化芸術活動に関わるためには、これまで以上に**発表する機会を拡充**するとともに、**観賞する機会の充実**が必要。
- ◆ 各地域で文化芸術活動が活発になり、県全体の文化芸術振興につながるよう、**文化芸術にかかる専門人材の育成**が必要。

## 29年度以降の取組

### 1 文化芸術振興組織(アーツカウンシル)の充実 (高知県文化財団に委託)

アーツカウンシル…文化芸術に関する専門性を持った人材を有し、文化活動に対する支援を行う組織

#### (1) 文化芸術支援事業

- ▷ 県民誰もが文化芸術活動に参加し、触れることができるための発表の場の拡充 (多くの人が集まるイベント等)
- ▷ KOCHI ART PROJECTS助成事業等の審査、評価の充実等
- ▷ 県内の文化芸術活動の情報収集および発信

#### (2) 人材育成事業

- ▷ 県内の文化芸術の現場を牽引する人材の育成 (アートマネジメント講座の開催等)

#### (3) 情報発信事業

- ▷ 文化芸術情報の一元化、ホームページの充実

### 2 高知県芸術祭の充実・強化

#### (1) 本物の芸術に触れる機会の提供

- ▷ 一流の文化芸術に触れるオープニングイベントの開催

#### (2) 芸術祭の認知度向上や参加者の満足感につながる取組

- ▷ 県民の文化芸術の発表の場の拡充
- ▷ 広報の充実・強化

#### (3) KOCHI ART PROJECTS助成事業の拡充

### 3 文化芸術振興ビジョン推進事業評価委員会の開催

- ▷ ビジョンに掲げる事業の取組状況や成果について検証、評価を実施
- ▷ 評価委員会での意見を基に、必要に応じてビジョンの見直しを図る

### ◆ アーツカウンシルの体制

高知県文化財団にアーツカウンシルの業務を担う専任職員を配置するとともに、高度な知見を有する文化専門アドバイザーの助言を得て、さらなる文化芸術の振興を図る

#### 専任職員

文化芸術に関する専門知識を生かし、関係団体等との連携を図りながら文化芸術振興にかかる事業の企画運営を実施

#### 文化専門アドバイザー

文化行政に関する造詣が深い有識者から、全国的な視点に基づく本県文化芸術の振興に対する助言

助言

須崎まちかどギャラリー



シアター-TACOGURA



# スポーツの振興

スポーツ健康教育課 ほか

- **スポーツ行政の一元化** スポーツの振興を通じて、競技力の向上、生涯スポーツの推進、スポーツツーリズムの振興等の施策を総合的、一体的に展開するため、教育委員会が所管しているスポーツ行政（競技スポーツ、生涯スポーツ）、地域福祉部が所管している障害者スポーツ及び観光振興部が所管しているスポーツツーリズムを総合的に担当する課を知事部局に一元化する。
- **予算のポイント** 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた選手強化をはじめ、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しむ環境づくりなど、スポーツ推進プロジェクトに基づく総合的なスポーツ振興を強化するとともに、スポーツを通じた地域の活性化を目指してスポーツツーリズムの推進を図る。

( ) は平成28年度予算額

## ① 子どもの運動・スポーツ

### 体育授業の質的向上／運動部活動の充実

- ◆ **こうちの子ども体力向上支援事業** 3,096千円〔3,522千円〕  
「体育授業・運動部活動部会」「就学前運動遊び部会」「健康教育部会」による課題解決
- ◆ **運動部活動サポート事業** 22,660千円〔17,956千円〕  
運動部活動に専門的な指導やスポーツ医・科学面からのサポートができる運動部活動支援員を派遣。



## ② 競技力

### 体系的な選手育成体制の強化／重点的な強化の実施 スポーツ医・科学の効果的な活用

- ◆ **競技スポーツ選手育成強化事業** 95,728千円  
①競技力向上プロジェクト会議 ②基礎強化 ③一貫指導による育成強化 ④特別強化選手支援 ⑤指導者養成 ⑥障害者スポーツ選手強化 ⑦アドバイザー招聘 ⑧コーチアカデミー
- ◆ **中学生競技力向上対策事業** 12,500千円  
①基礎強化 ②優秀チーム招聘 ③指導者研修 ④アドバイザー招聘 ⑤小・高との連携事業
- ◆ **運動部活動強化校支援事業** 13,551千円  
強化校（高校）を指定した重点的な選手育成・強化を実施
- ◆ **スポーツ医・科学サポート事業** 4,810千円  
①スポーツ医・科学等を活用した各種サポート ②指導者やスポーツ医・科学のサポーターの育成



## ④ オリンピック・パラリンピック

### オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成 オリンピック・パラリンピックを通じたスポーツ振興

- ◆ **オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿招致活動** 39,333千円〔13,480千円〕  
2020年東京大会事前合宿招致委員会による招致活動
- ◆ **オリンピック・パラリンピック・カムフラメント全国展開事業** 3,188千円  
学校や競技団体においてオリンピック・パラリンピックを通じた学びの機会を提供



## ⑤ 障害者スポーツ

### スポーツ機会の拡大／競技力向上に向けた基盤強化

- ◆ **地域における障害者スポーツ普及促進事業** 4,637千円〔3,630千円〕  
身近な地域で障害のある方が参加できるスポーツ教室やイベントの開催
- ◆ **障害者スポーツ競技力向上支援事業** 3,224千円  
障害者スポーツの競技力向上に向けた人材（選手・指導者等）の発掘・育成などによる活動基盤づくり



## ⑥ スポーツ施設

### 多様なスポーツ効果を高めるための環境整備

- ◆ **県立青少年センター陸上競技場整備** 18,237千円  
青少年センター陸上競技場の改修及び関連施設の整備等
- ◆ **多目的ドーム整備事業費** 251,773千円  
高知市東部総合運動場多目的ドームの整備に対する支援

## ③ 地域スポーツ

### 中山間地域のスポーツの活性化／スポーツ人口の増加

- ◆ **スポーツを通じたエリアネットワーク事業** 8,334千円〔4,739千円〕  
複数の市町村や総合型クラブ等が連携し、地域のスポーツ課題を解決する取組
- ◆ **全国レクリエーション大会開催費** 6,003千円  
平成30年度に本県で開催する「全国レクリエーション大会」の開催に向けた準備



## ⑦ スポーツツーリズム

### スポーツツーリズム推進事業

- ◆ **プロスポーツ推進事業** 97,682千円〔89,326千円〕  
プロスポーツキャンプや大会の誘致（野球・サッカー・ゴルフ）
- ◆ **ラグビーワールドカップ2019キャンプ誘致事業** 11,936千円〔5,631千円〕  
ラグビーワールドカップ2019事前キャンプ誘致等に係る取組
- ◆ **自然を生かしたスポーツツーリズムの推進** 20,784千円〔15,729千円〕  
サイクリング観光の推進や自然環境を生かしたスポーツイベントの開催支援

# 県立牧野植物園の磨き上げ

環境共生課  
H29当初予算額 102,001千円

牧野植物園の魅力・価値の最大化を進め、幅広い層の多くの方々が訪れる、より一層魅力にあふれた総合植物園を目指す。

◎市民の誇り「シビックプライド」の拠点

・多くの家族連れ、子どもたち、若者などで賑わい、世界中の人々に愛される憩いの場

◎知の拠点

・内知と外知が響き合う研究の拠点  
・未知の価値を創出し、世界に発信する研究型植物園

◎宝の人材を育成する拠点

・子どもたちが自然に親しみ、探究心を育む教育の場  
・第二、第三の牧野博士を育む世界唯一の植物園

### 取組の背景

・入園者数は平成20年度の年間20万人をピークに減少傾向。(H27: 14.4万人)  
・牧野植物園の持つ貴重なコレクションや立体的な地形などのポテンシャルを生かしきれていない。  
・これらのポテンシャルを最大限に引き出し、「世界に誇れる総合植物園」となるよう磨き上げが必要。  
・このため、平成28年8月に有識者や地元の代表者などで構成する検討委員会を設置し、磨き上げ構想の検討を開始。

### 取組の方向性

- 観光振興への貢献（牧野植物園のお宝の公開、五台山の一体的な振興等）
- 研究・産業振興への貢献（植物の有用成分の分析の加速化等）
- 教育への貢献（第二、第三の牧野博士の育成等）

ポイント1 家族連れや子どもたち、国内外の観光客で賑わう魅力のゾーンをH30秋にオープン！【予算額：56,798千円】造成工事にかかる測量設計等委託料ほか

#### NEW (仮称) ファミリー園

◎H30年秋オープン予定

※イメージ図

- ・子どもから大人まで植物に囲まれて自由に過ごすことができる、五台山からの美しい眺望が見渡せる憩いの広場。
- ◎期待される効果
- ・家族（子育て世代）や若者の来園者増・遠足・修学旅行の増
- ・野外ステージ（500人収容）イベントによる来園者増
- ・観光客の増（四季折々の多彩なフラワーイベントの開催）



#### NEW (仮称) スタディ園

◎H30年秋オープン予定

※イメージ図

- ・子どもから大人までが植物と触れ合いながら学んで遊べる広場
- ・葉をちぎったり、臭いを嗅いだり植物に自由に触れる体験ゾーン
- ・植物の有用性を学ぶゾーン（有用樹木、お茶、ハーブ、牧野野菜など）
- ◎期待される効果
- ・遠足・修学旅行の増・自らが考え学ぶ子どもたちの増
- ・観光客の増（ターゲットに合わせた体験学習コースの造成等）



ポイント2 既存の園地を磨き上げ、これまで知らなかった、見たことのなかった牧野植物園の魅力や価値を国内外にアピール！

#### NEW 夜の植物園

◎H30年春オープン予定

- ・幻想的な植物園の開園期間の拡大
- ※温室及び南園の常設照明
- ・宿泊する観光客の誘客

【予算額：26,659千円】

- ・測量設計委託料

#### NEW プロモーションの支援

◎H29年秋から

- ・磨き上げへの助言（イベント、企画展及びオリジナル商品の磨き上げ等）
- ・県外及び国外を中心とした誘客プロモーション戦略の策定
- 【予算額：13,000千円】
- ・事業戦略策定支援業務委託料

#### NEW 園内ガイド養成

◎H30年春スタート予定

- ・牧野植物園の魅力や価値をより丁寧に、より感動的に伝えるため、園内ガイドを定期開催するなど、おもてなしを充実
- 【予算額：5,544千円】
- ・園内ガイド2名の賃金・活動費他

#### 拡充 牧野植物園のお宝の公開等

##### ■志国高知幕末維新博に関連した展示

- 牧野博士が残した幕末から明治にかけての貴重な書籍や植物学資料などを厳選して紹介

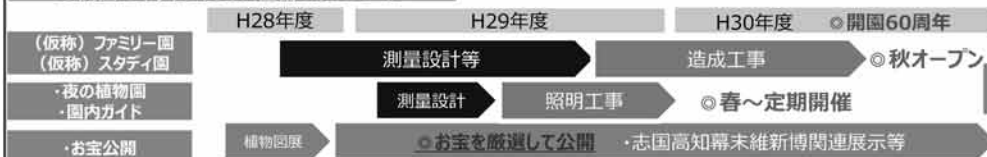
##### ■時空を超えて本物に出会える新企画

- 牧野文庫や標本庫にあるお宝を順次展示・紹介
- 牧野富太郎博士の植物図、植物標本の価値が体感できる展示や解説など

#### ■幅広い層へのアピール

- ファミリー層
  - ・子どもから大人までが牧野博士ゆかりの植物や見所を楽しむことができる春のスタンプラリー（第2弾）を実施
- 国内外の観光客
  - ・旅行商品への組み込み「牧野植物園で一日過ごす」等
  - ・クルーズ船乗客へのPRチラシ配布

#### ●開園60周年に向けた整備スケジュール



#### ◎世界に誇れる総合植物園へ大きく前進

- ・牧野植物園のポテンシャルを開花させる
- ・幅広い層の多くの方々の心をつかむ
- ・世界中の人が「一度は訪れたい植物園」へ

さらなる前進に向けて引き続き検討  
・お宝の公開の拡大  
・オープンラボラトリーなど研究部門の充実  
・植物の神秘に迫る仕組みづくり